# BEST AVAILABLE COPY

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

58-041887

(43) Date of publication of application: 11.03.1983

(51)Int.Cl.

C07D501/46 A61K 31/545

(21)Application number: 57-136579

(71)Applicant: FUJISAWA PHARMACEUT CO

LTD

(22)Date of filing:

04.08.1982

(72)Inventor: TERACHI TSUTOMU

**SAKANE KAZUO** 

**GOTO JIRO** 

(30)Priority

Priority number: 81 294291

Priority date: 19.08.1981

Priority country: US

81 330465

14.12.1981

US

# (54) NOVEL CEPHEM COMPOUND, ITS PREPARATION AND PREVENTIVE OR REMEDY FOR MICROBISM

(57)Abstract:

NEW MATERIAL: A compound of formulal (R1 is amino, protected amino; R2 is lower alkyl, carboxy(lower)alkyl, lower alkenyl; R3 is amino, lower alkanoylamino, lower alkyl; R4 is H, lower alkyl]and its salt.

EXAMPLE: 7-[2-Methoxyimino-2-(5-amino-1, 2, 4thiadiazol-3-yl )acetamide]-3-( 3- formamide-1pyridiniomethyl)-3-cephem-4-carboxylate.

USE: Preventive or remedy for microbisms: it inhibits proliferation of microorganisms including gram-positive and -negative bacteria.

PREPARATION: The reaction of a compound of formula II (R5 is group of formula IV) or its salt with another compound of formula III or its salt gives the objective compound of formulal.

## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

## (9) 日本国特許庁 (JP)

10特許出願公開

## ⑩公開特許公報(A)

昭58-41887

Int. Cl.<sup>3</sup>
 C 07 D 501/46

A 61 K 31/545

識別記号

ADZ

庁内整理番号 7169-4C 砂公開 昭和58年(1983)3月11日

発明の数 3 審査請求 未請求

(全14 頁)

⑤新規セフエム化合物およびその製造法、並びに細菌感染症予防・治療剤

②特

願 昭57-136579

20出

頭 昭57(1982)8月4日

優先権主張

図1981年8月19日図米国(US)

**3)294291** 

3)330465

@発 明 者 寺地務

大阪府豊能郡豊能町光風台6-20-6

⑫発 明 者 坂根和夫

尼崎市東園田町 6 -60-5

**@発明者後藤二郎** 

吹田市樫切山21A-401

⑪出 願 人 藤沢薬品工業株式会社

大阪市東区道修町4丁目3番地

仰代 理 人 弁理士 青木高

明、細糖

1. 発明の名称

新規セフェム化合物およびその製造法、並び に細菌感染症予防・治療剤

- 2. 特許請求の範囲
- (1) 一般式

(式中、R<sup>1</sup> はアミノまたは保護されたアミノ、R<sup>2</sup> は低級アルキル、カルポキン(低級)アルキル、低級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、低級アルキル、ヒドロ級アルカノイルアミノ、低級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、ヒドロキシ(低級アルカノイル、ヒドロキシイミノ(低級アルカノイルでミノ(低級)アルキル、オキサロアミノまたは低級アルカノイルでミノ(低級)アルキル、R<sup>4</sup> は水葉または低級アルキルをそれぞれ意味する)で示される新規セフエム化合物およびその塩類。

(2) (0)一般式

R<sup>1</sup> C-CONH S CH<sub>2</sub>-R<sup>5</sup>

「式中、R<sup>1</sup> はアミノまたは保護されたアミノ、R<sup>2</sup> は低級アルキル、カルボキシ(低級)アルキル、低級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、R<sup>5</sup> は式 → N<sup>2</sup> に ス中、R<sup>5</sup> はアミノ、低級アルカノイルアミノ、低級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、カルボキシ、クロル、低級アルカノイル、ヒドロキシイミノ(低級)アルキル、オキサロアミノまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、R<sup>4</sup> は水素または低級アルキルをそれぞれ意味する〕で示される基により置換されりる基をそれぞれ意味する)

で示される化合物またはその塩類に、一般式

(式中、R<sup>5</sup> およびR<sup>4</sup> はそれぞれ前と同じ意味) で示される化合物またはその塩類を作用させて 一般式

(式中、 $R^1$  、 $R^2$  、 $R^5$  および $R^4$  はそれぞれ前と同じ意味)

で示される新規セフェム化合物またはその塩類を 得るか、または

(式中、 $R^1$  、 $R^2$  および $R^4$  はそれぞれ前と同じ意味、 $R^{5R}$ は低級アルカノイルアミノをそれぞれ意味する)

で示される化合物またはその塩類を低級アルカノ

(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup> およびR<sup>4</sup> はそれぞれ前と同じ意味、R<sup>3</sup> Dはアミノをそれぞれ意味する) で示される化合物またはその塩類を得ることを特徴とする新規セフエム化合物またはその塩類の製

(式中、R<sup>1</sup> はアミノまたは保護されたアミノ、R<sup>2</sup> は低級アルキル、カルボキン(低級)アルキル、低級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、氏級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、氏級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、カルボキシ、クロル、低級アルカノイル、ヒドロキシイミノ(低級)アルキル、オキサロアミノまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、オキサロアミノまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、スセガル意味する)で示される新規セフエム化合物、その塩類、それらの製造法、並びにそれらを有効 成分とする細菌感染症予防・治療剤に関するものである。

本発明によれば、新規セフエム化合物(I)は以下 に説明する方法により製造することができる。

#### 方法 1

またはその塩類

またはその塩類

造法。

(式中、R¹ はアミノまたは保護されたアミノ、R² は低級アルキル、カルボキシ(低級)アルキル、低級アルケニル、低級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、R³ はアミノ、低級アルカノイルアミノ、低級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、カルボキシ、クロル、低級アルカノイル、ヒドロキシイミノ(低級)アルキル、オキサロアミノまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、R⁴ は水薬または低級アルキルをそれぞれ意味する)で示される新規セフエム化合物およびその塩類を有効成分とする細菌感染症予防・治療剤。

#### 3. 発明の詳細な説明

#### <u>方法 2</u>

#### またはその塩類

低級アルカノイル基の脱離

(|b) またはその塩類

【式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^5$  および $R^4$  はそれぞれ前 と同じ意味、 $R^5$  は式  $R^4$  (式中、 $R^5$  お よび $R^4$  はそれぞれ前と同じ意味)で示される茲に より置換されりる甚、 $R^{58}$  け低級TNカノイルアミ ノ、 $R^{50}$  はフェノをそれぞれ意味する〕

特恩昭58-41887(3)

目的化合物( | )、( | a ) および( | b )、 ならびに原料化合物( | ) については、該目的化 合物および原料化合物にはシン異性体、アンチ異 性体およびそれらの混合物が含まれるものとする。 例えば、目的化合物( | ) についていえば、シン 異性体は式:

(式中、R<sup>1</sup> およびR<sup>2</sup> は前と同じ意味)で示される部分構造を有する幾何異性体を意味し、アンチ異性体は式:

〔式中、 $R^1$  および $R^2$  は前と同じ意味〕で示される部分構造を有する他の幾何異性体を意味する。

前記のその他の化合物に関しても、それらのシンむよびアンチ異性体は、化合物(I)について説明したシン異性体およびアンチ異性体と同様の数何異性体をいう。

目的化合物( | )の好ましい塩類は慣用の無審

少なくとも1個有していてもよいアル(低級)ア ルキル等のような慣用の保護基によって置換され たアミノ基を含む。

「アシルアミノ」および「アシルオキシ」にお ける好ましいアシル部分は、カルバモイル、脂肪 族アシル甚および芳香族環もしくは複素環を含む アシル甚を含んでいてもよい。 前記アシルの好ま しい例としては、例えげホルミル、アセチル、ブ ロピオニル、ブチリル、イソプチリル、バレリル、 イソパレリル、オキサリル、サクシニル、ピパロ イル等の低級アルカノイル;例えばメトキシカル ポニル、エトキシカルポニル、プロポキシカルポ ニル、1ーシクロプロピルエトキシカルポニル、 イソプロポキシカルボニル、プトキシカルボニル、 tープトキシカルポニル、ペンチルオキシカルポ ニル、ヘキシルオキシカルポニル等の炭深原子2 ~1個を有する低級アルコキシカルポニル;例え **ぱペンセンスルホニル、トシル等のアレーンスル** ホニル;例えばペンソイル、トルオイル、キシロ イル、ナフトイル、フタロイル、インダンカルポ

性塩であり、例えばナトリウム塩、カリウム塩等のアルカリ金属塩、例えばカルシウム塩、マグネシウム塩等のアルカリ土類金属塩等のようた金属塩、アンモニウム塩、例えばトリメチルアミン塩、トリエチルアミン塩、ピリジン塩、ピコリン塩、ジシクロヘキシルアミン塩、N.Nージベンジルエチレンジアミン塩等の有機アミン塩、例えば酢酸塩、トリフルオロ酢酸塩、マレイン酸塩、酒石酸塩、メタンスルホン酸塩、ベンゼンスルホン酸塩、ギ酸塩、トルエンスルホン酸塩等の有機酸塩、塩酸塩、臭化水素酸塩、コー化水素酸塩、硫酸塩、リン酸塩等の無酸塩、または例えばアルギニン、アスパラギン酸、グルタミン酸等のアミノ酸との塩等が含まれる。

この明細舎の前述の記載および以下の記載において、この発明の範囲内に包含される種々の定義の好ましい例と説明とを以下詳細に述べる。

「低級」とは特別の指示がなければ、炭素原子1 ~6個を意味する。

好ましい「保護されたアミノ」は、アシルアミノ もしくは、例えばペンジル、トリチル等の置換基を

ニル等のアロイル;例えげフェニルアセチル、フェニルプロピオニル等のアル(低級)アルカノイル;例えばペンジルオキシカルボニル、フェネチルオキシカルボニル等のアル(低級)アルコキシカルボニル等が挙げられる。前記アシル部分はハロゲン(塩素、臭素、ファ繋およびヨー素)、低級アルカノイル等のような少なくとも1個の適当な置換基で置換されていてもよい。

置換基を有する好ましいアンルとしては低級アルカノイル(低級)アルカノイル(例えばアセトアセチル、アセトプロピオニル等)が挙げられる。適当な「低級アルキル」およびカルボキシ(低級)アルキル、ヒドロキシイミノ(低級)アルキルをよび低級アルカノイルアミノ(低級)アルキルの「低級アルキル」部分は1~6個の炭森原子を有するアルキルであり、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソプチル、も一ベンチル、ヘキシル等がその例として挙げられるが、好ましくは炭森原子1~4個を有するアル

キルである。

適当な「低級アルケニル」は炭素原子2~6個を有するものであり、ビニル、アリル、イソプロ、ベニル、1ープロペニル、2ープテニル、3ーペンテニル等が含まれるが、好ましくは炭素原子2~4個を有するものである。

適当な「低級アルキニル」は炭素原子2~6個を有するものであり、エチニル、2ープロピニル、2ープチニル、3ーペンチニル、3ーペキシニル等がその例として挙げられるが、好ましくは炭素原子2~4個を有するものである。

適当な「シクロ(低級)アルケニル」は炭素原子3~6個を有するものであり、シクロプロペニル、シクロプテニル、シクロペンテニル、シクロペンテニル、シクロペキセニル等が含まれるが、好ましくは炭素原子5~6個を有するものである。

好適な「低級アルカノイル」および「低級アルカノイルアミノ」および「低級アルカノイルアミノ」はよび「低級アルカノイルフミノ(低級)アルキル」における「低級アルカノイル」部分としては、前記アシル基の例示として挙

る。

化合物(▮)および(▮)の好ましい塩類としては、化合物(▮)について例示したものと同じものを使用することができる。

との反応は通常、水、リン酸緩衝液、アセトン、 クロロホルム、アセトニトリル、ニトロペンゼン、 塩化メチレン、塩化エチレン、ホルムアミド、ジ メチルホルムアミド、メタノール、エタノール、 エーテル、テトラヒドロフラン、ジメチルスルホ キンドのような溶媒中で行なわれ、反応に悪影響 を及ぼさない溶媒であればその他のどのような溶 媒中でも行なりととができるが、強い極性溶媒中 で行なりことが望ましい。これらの溶媒中、親水 性溶媒は水と混合して使用してもよい。との反応 は中性溶媒中で行なりととが選ましい。化合物 [ 1]を遊離の形で使用する場合、との反応は例 えば、アルカリ金属水酸化物、アルカリ金属炭酸 塩、アルカリ金属炭酸水素塩のような無機塩盐、 トリアルキルアミンのような有機塩基等の塩基の 存在下に行なりととが選ましい。反応温度は特に

げた「低級アルカノイル」が挙げられる。

好顔をR<sup>5</sup> としては、前記のアシルオキシ、ハロゲン(例えば、クロル、フルオロ、プロムまたはヨード)、アンド等の酸残基が挙げられる。

目的化合物(I)の好ましい具体例は、R<sup>1</sup> がアミノ、R<sup>2</sup> が低級アルキル、カルボキシ(低級)アルキル、低級アルキニルまたはシクロ(低級)アルケニル、R<sup>3</sup> がアミノ、低級アルカノイルアミノ、低級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、カルボキシカルバモイルまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、カルボキシカルバモイルまたは低級アルカノイルアミノ(低級)アルキル、R<sup>4</sup> が水素または低級アルキルである化合物である。

この発明の目的化合物の製造法を以下詳細に説明する。

#### 方法 1

目的化合物( | ) またはその塩類は、化合物 ( | ) またはその塩類に化合物( | ) またはその塩類に化合物( | ) またはその塩類を作用させることにより製造することができ

限定されず、反応は通常、常温、加温下ないしは 加熱下に行なわれる。この反応は好ましくは例え は、ヨウ化ナトリウム、ヨウ化カリウム等のアル カリ金属ハロゲン化物、チオシアン酸ナトリウム、 チオシアン酸カリウム等のチオシアン酸アルカリ 金属塩等の存在下に行なわれる。

#### 方法 2

目的化合物(ID)またはその塩類は、化合物 (IB)またはその塩類を低数アルカノイル基の 脱離反応に付すことにより製造することができる。

化合物(| a ) および(| b ) の好ましい塩類 としては、化合物(| ) について例示したものと 同じものを使用することができる。

との脱離反応は加水分解;化合物(18)をイミノハロゲン化剤と反応させ、次いでイミノエーテル化剤と反応させ、必要に応じて生成物を加水分解処理に付す方法等のようを慣用の方法により行なわれる。加水分解には酸、塩基等を用いる方法を使用することができる。

これらの方法中、敵を用いる加水分解は、好滅

な方法の1つであり、適当な較としては有機酸または無機酸、例えばギ酸、トリフルオロ酢酸、ペンゼンスルホン酸、 P-トルエンスルホン酸、塩酸等が挙げられるが、好ましい酸は例えばギ酸、トリフルオロ酢酸、塩酸等である。酸による脱離反応を行なり場合には、反応を溶媒の存在下に行なっても、溶媒を用いずに行なってもよい。好適な溶媒は慣用の有機溶媒、水またはそれらの混合物である。トリフルオロ酢酸を用いる場合には、脱離反応をアニソールの存在下に行なりことが望ましい。

塩基による加水分解に用いる好適な塩基としては例えば、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム等のアルカリ金属水酸化物、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム等のアルカリ土類金属水酸化物、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム等のアルカリ金属炭酸塩、炭酸マグネシウム、炭酸カルシウム等のアルカリ土類金属炭酸塩、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウム等のアルカリ金属、酢酸ナトリウム、酢酸カリウム等のアルカリ金属

口もしくは外用投与に適した有機もしくは無機、 固体または液体の膨形剤を混和した製剤の形で使用される。このような製剤としては、カプセル、 錠剤、顆粒剤、軟膏、坐剤等の固体状製剤、また は溶液剤、脛濁剤もしくは乳剤等の液剤がある。 さらに所望により前割製剤中に補助剤、安定剤、 湿潤剤もしくは乳化剤、緩衝剤、その他の慣用添加剤等を含有させることもできる。

有効化合物の投与量は思者の年令および症状に応じても変動するが、との発明の化合物の平均的な1回の投与量としては、約50型、100型、250型および500型の量が多くの病原菌により誘起される感染症の治療に有効である。一般に日用量としては1型ないし約1000型或はそれ以上の散が投与されりる。

次に目的化合物(I)の有用性を示すためにこの発明に保る代表的化合物の抗菌活性に関する試験データを示す。

#### 試験方法

試験管内抗菌活性を下記の寒天平板希釈法によ

酢酸塩等のような無機塩基、例えばトリメチルアミン、トリエチルアミン等のトリアルキルアミン、ピコリン、Nーメチルピロリジン、Nーメチルモルホリン等のような有機塩基が挙げられる。塩茶を用いる加水分解はしばしば水、慣用の有機溶媒もしくはこれらの混合物中で行なわれる。

反応温度は特に限定されないが、 通常冷却下、 室温ないしは若干加熱する程度の温和な条件下に 行なりことが望ましい。

とのように前記方法1および2に従って得られた化合物は、慣用の方法によって医薬として許容される塩類にすることができる。

との発明の目的化合物(I)は高い抗菌活性を示し、 グラム脳性およびグラム陰性病原剤を含む多数の 微生物の増殖を抑制する。

目的化合物(I)を医薬として用いる場合は、医薬 上許容される塩の形で用いてもよい。

との発明のセフェム化合物(I)またはその塩類け、 治験を目的として投与されるに際し、との化合物 に医薬として許容しりる媒体、例えば経口、非経

#### って求めた。

トリプチケース・ソーイ・プロス(菌数10<sup>8</sup>個/ml)中で一夜培養した各試験菌株の一白金耳をハート・インフュージョン・アガー(HI一寒天)に接種した。との培地には抗菌剤が各濃度で含まれており、37℃で20時間培養した後最低発育阻止濃度(MIC)を測定した。(単位: μ8/ml)

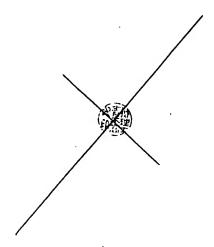
#### 試験化合物

- (1) 7-(2-メトキシイミノー2-(.5-アミノー1,2,4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3,5-ジメチルー1ーピリジニオメチル)-3-セフエムー4-カルボキシレート(シン異性体)。
- (2) 7-(2-アリルオキシィミノー2-(5-アミノー1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3,4-ジメチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエムー4-カルボキシレート(シン異性体)。

 $M.I.C(\mu 9/\epsilon t)$ 

試験菌	試験化(1)	合物 (2)
$x >_{x} y +_{y} +_{y} y +_{y$	0.1 0	0.0 5
クレブシラ・ニューモニア 1 2 (KlebSiella pneumoniae)	0.10	0.20

以下、この発明を製造例および実施例により説明する。



#### 製造例

フー〔2ーメトキシイミノー2ー(5ーアミノー1,2,4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミド〕セファロスポラン酸(シン異性体)に酢酸ナトリウムを常法により反応させて、フー〔2ーメトキシイミノー2ー(5ーアミノー1,2,4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミド〕セファロスポラン酸のナトリウム塩(シン異性体)を得る。

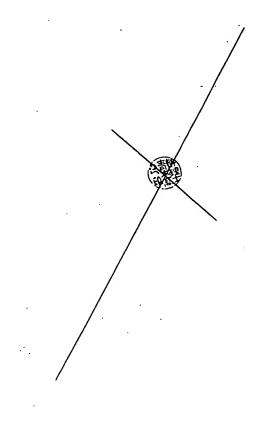
mp185~190°C(分解)

IR(メジョール):3150,1765,1745,1670.

1550,1400,1355,1290,1250,1055a=1

#### 夹施例1

3ーホルムアミドピリジン(5.1 g)、ヨウ化 カトリウム(36g)、燐酸(1.24g)、水 (6 el)およびアセトニトリル(18 el)の混合 物を攪拌しながら65~70℃に加熱し、これに 7-〔2-メトキシイミノー2-(5-アミノー 1,24-ダアジアゾールー3-イル)アセトアミ ド〕セファロスポラン酸のナトリウム塩(シン異



性体)(10%)を加える。混合物を70~72 ℃で1.5時間攪拌し、水(50 € )で希釈する。 水溶液を冷却し、6N塩酸でPHを3とし、水を 加えて200g 化希釈する。水溶液をクロロホル ムおよびエタノール(2:1)の混合溶媒(150 al)で5回洗浄し、滅圧下に300 alに濃縮する。 不溶物を沪去し、沪液を非イオン性吸着樹脂。ダ イアイオンHP20 \*(登録商標:三菱化成工業 (株) 製)(300 配)でカラムクロマトグラフィ 一に付す。カラムを水で洗浄後、10%水性メタ ノールで溶出する。目的化合物を含む溶出液を合 し、成圧下にメタノールを留去し、凍結乾燥して、 7-〔2-メトキシイミノー2-(5-アミノー 1,2,4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミ ドラーるー(ろーホルムアミドー1ーピリジニオ メチル )ー3ーセフエムー4ーカルポキシレート ( シン異性体 ) (5.20g)を得る。 mp. 158~163°C(分解)。

IR(メジャール):3400~3100.1770.1670.1600. 1530a ̄¹

#### 特周昭58-41887(ア)

NMR( $D_2O.8$ ): 5.20 \$\times \text{LO} \text{5.75}(2\text{H.ABq.J=} 18\text{Hz}). 403(3\text{H.s}). 528(1\text{H.d.J=5\text{Hz}}), 550 \$\times \text{LO} \text{5.67}(2\text{H.ABq.J=14\text{Hz}}). 5.88 (1\text{H.d.J=5\text{Hz}}). 7.9\sigma82(1\text{H.m}). 8.3\sigma 8.6(1\text{H.m}). 8.45(1\text{H.s}). 8.6\sigma88(1\text{H.m}). 9.5(1\text{H.m})

#### ・実施例2

7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1,24-チアジアゾールー3-イル)アセトアミトー3-(3-ホルムアミドー1-ピリジニオメチル)-3-セフエムー4-カルボキシレート(シン異性体)(4.489)のメタノール(45 ml) 懸濁液に濃塩酸(1.7 ml)を加え、混合物を75分間攪拌する。溶媒を留去し、残渣液アセトン中で得られた粉末を水(100 ml)に懸濁し、炭酸水素ナトリウムの水溶液でPHを4~5にし、非イオン性吸溶樹脂。ダイアイオンHP20。(登録商額:三菱化成工業(株)製)(135 ml)でカラムクロマトグラフィーに付す。カラムを水で洗浄した後、15%水性イツプロピルアルコー

(1.4:89)、水(7.3 ml) およびアセトニトリ ル(22.4 ml)の混合物を1時間12~16°Cで 攪拌する。反応混合物に水を加えて300gを不 釈し、6N塩酸でPHを3とし酢酸エチルで洗浄 する。水溶液を分離し、非イオン性吸着樹脂。ダ イアイオンHP-20"(360st)でカラムク ロマトグラフィーに付す。カラムを水で洗浄の後、 25%水性メタノールで溶出し、目的化合物を含 む溶出液を合し、成圧下で20mにまで濃縮する。 水溶液化N、Nージメチルホルムアミド(20 al) を加えて混合し、それを攪拌下、アセトン(470 ■f)に加える。生ずる沈殿を沪過し、アセトンで 洗浄し、乾燥する。沈殿を水(80 ml)に溶解し、 酸性アルミナ(22.58)を通し、凍結乾燥して、 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー 1, 2,4ーチアジアゾールー 3ーイル ) アセトアミ ド)-3-(3-メチル-1-ピリジニオメチル) -3-セフエム-4-カルポキシレート( シン異 性体)(4.819)を得る。 mp 150~154°C(分解)。

ルで溶出し、目的物を含む溶出液を合し、放圧下 にイソプロピルアルコールを留去し、凍結乾燥し て1-〔2ーメトキシイミノー2ー(5ーアミノ - 1.2.4ーチアピアゾールー3ーイル)アセトア ミド〕-3ー(3ーアミノー1ーピリピニオメチ ル)-3ーセフエムー4ーカルポキシレート(シ ン異性体)(3109)を得る。mp177~182 C(分解)。

IR(メジョール):3350,3200,1770,1640~ 1590,1510ロー

NMR(D<sub>2</sub>O, 8): 3.15 & L U 3.65(2H, ABQ, J= 18Hz), 4.04(3H, 8), 52~54(2H, m), 525(1H, d, J=5Hz), 5.85(1H, d, J=5Hz), 7.6~7.7(2H, m), 8.0~8.1(1H, m), 8.2(1H, m)

#### 実施例3

7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノ -1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトア 、ミド)セファロスポタン酸ナトリウム塩(シン異 性体)(12.0g)、3-メチルピリジン(4.68 g)、ヨウ化ナトリウム(44.4g)、燐酸

IR(メジョール):3650~3100.1770.1670.
1640~1610.1520æ<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O.ð):252(3H.s).3.15かよび3.69
(2H.ABq.J=18Hz).4.02(3H.s).527
(1H.d.J=5Hz).525 かよび5.55(2H.ABq.J=14Hz).5.87(1H.d.J=5Hz).
7.73~8.10(1H.m).823~8.50(1H.m).
863~883(1H.m)

#### 夹施例4

上記の実施例と同様にして次の化合物を得る。
(1) 7ー(2ーメトキシイミノー2ー(5ーアミノー1,2,4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミド)ー3ー(4ーメチルー1ーピリジニオメチル)ー3ーセフエムー4ーカルポキシレート(シン異性体)。mp.155~160°C(分解)。IR(メジョール):3650~3100,1770,1660.
1640,1610,1520a-1
NMR(D<sub>2</sub>O,8),263(3H,8),3.15および367(2H,ABq,J=18Hz),403(3H,8),527

(1H.d.J=5Hz), 52 2 1 5555(2H.

#### 特別昭58-41887(8)

ABq、J=14H2)、585(1H, d、J=5H2)、
783(2H, d、J=7H2)、873(2H, d、J=7H2)
(2) 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミ
ノー1、2.4-チアジアゾールー3-イル)アセト
アミド)ー3-(3-エチルー1-ピリジニオメ
チル)ー3-セフエムー4-カルボキシレート
(シン異性体)、mp160~165°C(分解)。
1R(ヌジャール):3300、3150、1770、1670、1610、
1530、1285、1140、1040cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):1.30(3H.t.J=7Hz).2.92
(2H,q.J=7Hz).3.22\$\pi L U 368(2H,ABq,
J=18Hz).405(3H,s).528(1H,d,J=
5Hz).5.28\$\pi L U 558(2H,ABq,J=14Hz).
588(1H,d,J=5Hz).782~8.13(1H,m).
830~857(1H,m).863~8.90(2H,m)

(3) 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-アミノ-1,24-チアジアゾール-3-イル)アセトアミド)-3-(3-エチル-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体),mp150~155℃(分解)。

q.J=7Hz).530(1H,d,J=5Hz).557 (2H,m).590(1H,d,J=5Hz).7.63~ 830(2H,m).833~870(1H,m).885 (1H,d,J=6Hz)

(5) 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1,2,4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(2-(2-ヒドロキシエチル)-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体),mp160~165℃(分解)。

(6) 7-(2-メトキシイミノ-2-(5-アミ ノ-1,2,4-チアジアゾール-3-イル)アセト IR(xJ,-w):3250,3150.1770.1670.

1610.1530.1510.1290.1150.1040a-1

NMR(D2O, 8):1.30(6H.t, J=7Hz).293(2H.

Q.J=7Hz).3.17 \$\div LU 368(2H, ABq, J=

18Hz).4.37(2H.q, J=7Hz).530(1H.d.

J=5Hz).528 \$\div LU 5.58(2H, ABq, J=

14Hz).588(1H.d.J=5Hz).7.80~8.15

(1H.m).830~860(1H.m).865~8.92

(2H,m)

(4) 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-アミノ-1.2.4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミドリー3-〔2-(2-ヒドロキシエチル) ー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体)。
mp.150~155℃(分解)。
IR(ヌジョール):3650~3100.1770.1660.1620.
1530.1280.1180.1140.1040 cm<sup>-1</sup>
NMR(D<sub>2</sub>O.δ):1.32(3H,t,J=7Hz).3.15 および 362(2H,ABq,J=18Hz).3.43(2H,t,J=6Hz).407(2H,t,J=6Hz).440(2H,

アミド ) - 3 - ( 2-メチル-1-ビリジニオメ チル ) - 3-セフエム-4-カルポキシレート (シィ異性体), mp150~154°C(分解)。 IR(ヌジョール):3650~3100.1770.1670. 1630.1610.1530.1290.1150.1040cm<sup>-1</sup> NMR(D<sub>2</sub>O, 8):283(3H,8).315をよび357 (2H,ABq,J=18Hz).405(3H,8).5.27 (1H,d,J=5Hz).528をよび557(2H,ABq,J=14Hz).587(1H,d,J=5Hz). 7.68~8.00(2H,m).8.17~8.57(1H,m). 8.72(1H,d,J=6Hz).

(7) 7-(2-エトキシイミソー2-(5-アミソー1,2.4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミドリー3-(3-ヒドロキシブロピル)-1-ピリジニオメチルリー3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)。mp160~165℃(分解)。

IR(メジョール): 3250, 3150.1770, 1670, 1530.1280.1140.1060.1040cm<sup>-1</sup> NMR(D<sub>2</sub>O, 8): 1.30(3H, t, J=7Hz).1.73~

## 特局昭58-41887(9)

227(2H,m),270~3.13(2H,m),3.15 \$\frac{1}{2}\$ \$\text{\$\text{\$\subset}\$}\$ \$\text{\$\text{\$\superstack}\$ \$\text{\$\text{\$\superstack}\$ \$\text{\$\text{\$\text{\$\superstack}\$}\$ \$\text{\$\t

(8) 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-アミノ-1.2.4ーチアジアゾール-3-イル)アセトアミド)-3-(4-(1-ヒドロキシエチル)-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)。mp160~165°C(分解)。

IR(メジョール):3250.3150.1770.1660, 1640.1610.1520.1280.1150.1100, 1040 or 1

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):1.33(3H,t,J=7Hz),1.60 (3H,d,J=7Hz),3.20 \$\div U 3.73(2H,ABq, J=18Hz),440(2H,q,J=7Hz),5.03~ 550(1H,m),5.33(1H,d,J=5Hz),5.30

アミド)- 3 - (3 - クロロー 1 - ピリジニオメチル) - 3 - セフエム - 4 - カルボキシレート(シン異性体), mp1 45~150°C(分解)。IR(ヌジョール):3270.3170,177u.1660.
1610.1525.1490cm<sup>-1</sup>

NMR(D20,8):3.25 \*\*\* LV 3.68(2H,ABq,J=
18Hz).4.07(3H,s),528(1H,d,J=5Hz),
537 \*\*\* LV 5.62(2H,ABq,J=14Hz).5.88
(1H,d,J=5Hz).7.90~8.23(1H,m).8.50~
8.77(1H,m).8.85~9.08(1H,m).9.18
(1H,70-F's)

(1) 7-(2-メトキシイミノ-2-(5-アミノ-1,2.4-チアジアゾール-3-イル)アセトアミド)-3-(3.5-ジメチル-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体),mp146~150°C(分解)。
IR(メジェール):3400,3300,3200,1770,1665,
1610,1530 cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O,∂):248(6H,9),322 ⇒ LU 355 (2H,Abq,J=18Hz),4D3(3H,8),525 **⇒ LU** 5.62(2H.ABq, J=14Hz), 5.95(1H, d.J=5Hz), 8.08(2H.d.J=7Hz), 8.95 (2H,d.J=7Hz)

(9) 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-7ミノ-1.2.4-ナアジアゾール-3-イル)アセトアミドリー3-(3-(2-ヒドロキシエチル)-1-ピリジニオメチルリー3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)。mp155~160°C(分解)。

IR(\$\mu\_{\mu}\nu):3250.3170.1770.1660.

1610.1530cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):1.28(3H, t, J=7H<sub>2</sub>).307 (2H, t, J=6H<sub>2</sub>).323 かよび357(2H, ABq, J=18H<sub>2</sub>).390(2H, t, J=6H<sub>2</sub>).432 (2H, q, J=7H<sub>2</sub>).527(1H, d, J=5H<sub>2</sub>), 535 かよび5.53(2H, ABq, J=14H<sub>2</sub>),5.87 (1H, d, J=5H<sub>2</sub>).7.83~8.17(1H, m). 8.33~8.60(1H, m).8.70~8.97(2H, m) 60 7-(2-メトキシイミノ-2-(5-7ミ

(1H,d,J=5Hz),528 \$ 10 543(2H, ABq,J=14Hz),585(1H,d,J=5Hz),840(2H,8)

ノー 1, 2, 4ーチアジアゾールー3ーイル)アセト

(2) 7-(2-メトキシイミノ-2-(5-アミノ-1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド )-3-(3-ヒドロキシプロピル)-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体),mp163~167°C(分解)。

IR(メジョール):3250,3150,1770,1660. 1610.1525の<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):1.7~223(2H,m).2.75~5.17
(2H,m).3.23 \$\div 360(2H, ABq, J=
18Hz).363(2H,t, J=7Hz).405(3H,s).
527(1H,d,J=5Hz).5.37\$\div 553(2H,
ABq,J=14Hz).587(1H,d,J=5Hz).
7.80~8.17(1H,m).825~860(1H,m).
867~8.93(2H,m)

(4) 7~(2~エトキンイミノ~2~(5~アミノ~ 1,2,4~チアジアゾ~ル~3~イル)アセトアミド)

#### 特國昭58-41887(10)

- 3 - (3 - オキサロアミノ- 1 - ピリジニオメチル) - 3 - セフエムー 4 - カルポキシレート( シン異性体), mp 1 0 8.5 ~ 1 1 7.5 °C。.
IR(ヌジョール): 3250,1770,1660,1590,
1530,1180,1145,1040a<sup>-1</sup>
NMR(D<sub>2</sub>O, d): 1.33(3H, t, J=7Hz), 3.33お

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):1.33(3H, t, J=7Hz).3.33 \$\display \text{tr} 3.73(2H, ABq, J=18Hz).435(2H, q, J=7Hz).5.22(1H, d, J=5Hz).5.32 \$\display \text{tr} 5.70(2H, ABq, J=14Hz).5.92 (1H, d, J=5Hz).805(1H, m).845(1H, m).875(1H, m).953(1H, m)

(4 7-(2-エトキシイミノー2-(5-アミノー1.2.4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミド]-3-(3-ホルムアミドメチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキンレート(シン異性体).mp157~161°C(分解)。

IR(メジャール):3250,3200,3050.1775. 1660,1610,1530,1350,1285,1140. 1060,1035 ロー1

アミノー 1.2.4ーチアジアゾールー 3ーイル)アセトアミド) – 3 – (3.5 – ジメチルー 1 – ピリ ジニオメチル) – 3 – セフエム – 4 – カルポキシレート(シン異性体)、mp198~203°C (分解)。

IR(\$\varphi\_{\epsilon}\nu):3250,3160,1770.1665.

1610.1525,1290.1170,1150.1060;

1010\(\alpha^{-1}\)

NMR(D<sub>2</sub>O,8): 248(6H,8), 3.15 **b** ± U 360 (2H,ABq,J=18Hz), 47~4.9(2H,m), 525(1H,d,J=5Hz), 4.9~5.7(4H,m), 5.75~6.40(1H,m), 5.87(1H,d,J=5Hz), 8.15(1H,8), 8.57(2H,8)

(カ 1-(2-(2-プロピルオキシイミノ)ー2-(5-アミノー1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド)ー3-(3,5-ジメチルー1-ピリジニオメチル)ー3-セフエムー4ーカルポキシレート(シン異性体),mp175~180°C(分解)。

IR(メジョール):3400,3250,3050,2110,

NMR(D20.8):1.30(3H.t.J=7H2).3.18#1 U 362(2H, ABq, J=18Hz), 4.30(2H, q. J=7Hz), 462(2H,8),525(1H,d,J= 5Hz).530 \$10 557(2H, ABQ, J=14Hz). 5.85(1H,d,J=5Hz).800(1H,dd,J=6\$10'8Hz),8.20(1H,8),8.45(1H,d, J= 8Hz),885(1H,4,J=6Hz),889(1H,S) 09 フー〔2ーエトキシイミノー2ー(5ーアミ ノー 1, 2, 4ーチアジアゾールー3ーイル)アセト アミドンーろー(4ーアミノー1ーピリジニオメ チル ) - 3 - セフエム - 4 - カルポキシレート ( シン異性体 ) . m P 1 6 5 ~ 1 7 5 ℃ ( 分解 )。 IR(xy=-w):3300,3150,1770,1650. 1600.1530.1160.1035a=1 NMR(D2O,8):1.32(3H,t,J=7Hz),3.15 1 U 3.65 (2H, ABq, J=18H2), 4.35 (2H, q, J=7H2).5.00(2H, 7P-F 8).5.26(1H. d, J=5Hz), 5.88(1H, d, J=5Hz).6.94(2H,d,J=7Hz).808(2H,d,J=7Hz)

1775.1660.1610.1530ar<sup>-1</sup>

NMR(DMSO-d<sub>6</sub>+D<sub>2</sub>O, ð):247(6H,s),3.43

(1H,t,J=2Hz).3.12 \$\div U \ 3.45(2H,ABq.

J=18Hz).4.73(1H,d.J=2Hz).503(1H,d.J=5Hz).503(1H,d.J=5Hz).5.68(1H,d.J=5Hz).8.23(1H,s).

9.00(2H,s)

(14) 7-[2-アリルオキシイミノー2-(5-

(18) 7-(2-アリルオキシイミノー2-(5-アミノー1.2.4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3-エチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体),mp195~200°C(分解)。
「「(メジョール):3270.3160.1770.1665,
1610.1530.1280.1145.1060で1
NMR(D<sub>2</sub>O<sub>2</sub>O<sub>3</sub>O):1.28(3H.t.J=7Hz).286(2H.Q.J=7Hz).317 ましび3.58(2H.ABq.J=18Hz).46~48(2H.m).525(1H.d.J=5Hz).51~58~65(1H.m).78~81(1H.m).82~86(1H.m).87~89(1H.m).880(1H.s)

# 特萬昭 58-41887(11)

(in) 7-(2-(2-プロピルオキシイミノ)-2-(5-アミノー1.2.4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミドー3-(3-エチル-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体),mp165~170°C(分解)。

IR(\$\mu\_{\mu}-\mu):3400.3250.3150.2090.

1770.1660.1610.1520 cm^-1

NMR(DMSO-d\_6+D\_2O.8):1.33(3H.t.J=7Hz).

290(2H.q.J=7Hz).3.17 \$\mu U 355(2H.

ABq.J=18Hz).350(1H.t.J=2Hz).

480(2H.d.J=2Hz).512(1H.d.J=5Hz).

525 \$\mu U 567(2H.ABq.J=14Hz).5.75

(1H,d,J=5Hz),7.95~8.25(1H,m),8.37~

な 7~(2~(2~シクロペンテン~1~イル オキシイミノ)~2~(5~アミノ~1,24~チ アジアゾール~3~イル)アセトアミド)~3~ (3.5~ジメチル~1~ピリジニオメチル)~3~ ~セフエム~4~カルポキシレ~ト(シン異性体)。

8.67(1H,m),9.17~9.40(2H,m)

(1 H.d. J=5Hz).802(1H.dd. J=6および8Hz).847(1H.d. J=8Hz).8.95(2H.m)

24 7-〔2-エトキシイミノー2-〔5-アミノー1.2.4-チアジアゾールー3-イル〕アセトアミド〕ー3-〔4-アセチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエムー4-カルポキシレート〔シン異性体〕.mp150~155°C(分解)。

IR(ヌジョール):3300.1780.1700.1660.

1610.1550 cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, δ):1.50(5Ht, J=7Hz),2.80(5H,s),

327\$\delta U 3.63(2H, ABq, J=18Hz),4.55
(2H, Q, J=7Hz),5.28(1H, d, J=4Hz),

5.45\$\delta U 5.67(2H, ABq, J=14Hz),

5.90(1H,d, J=4Hz),8.47(2H,d, J=7Hz),

9.20(2H,d, J=7Hz)

(4) 7-(2-エトキシイミノー2-(5-アミノー1,2,4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミドリー3-(4-ヒドロキシイミノメチルー1ーピリジニオメチル)ー3-セフエムー4ーカルポキシレート(シン異性体)。

IR( $x y_{\pi} - \nu$ ):3300,3170,1770,1670,1610. 1525,1290,1170,1060,1030  $\alpha^{-1}$ 

(1) 7-(2-(2-シクロペンタン-1-イルオキシイミノ)-2-(5-アミノ-1,24-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド]-3-(3-エチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)。
 mp151~158℃(分解)。

IR(メジェール):3500.3200.1765.1660.
1610.1525.1280.1140.1060.1030ag-1
NMR(D<sub>2</sub>O+アセトン・d<sub>6</sub>.8):1.30(3H.t,J=7Hz).
180~2.60(4H.m).2.92(2H.q,J=7Hz).
317 および 3.63(2H.ABq,J=18Hz).4.67~
6.27(5H.m).5.21(1H.d,J=5Hz).5.85

IR(メジョール):3300.3150.1775.1670. 1610.1520cm<sup>-1</sup>

NMR(P<sub>2</sub>O+DC(...): 1.38 (3H.t.J=7Hz).

350 \$\div L U \ 383 (2H.ABq, J=18Hz).

4.45 (2H,q,J=7Hz).540 (1H,d,J=4Hz).

5.47 \$\div L U \ 587 (2H.ABq,J=14Hz).5.97

(1H,d,J=4Hz).8.25 (2H,d,J=7Hz).

8.40 (1H,s).8.95 (2H,d,J=7Hz)

Q1 7 - (2 - アリルオキシイミノ-2 - (5 - アミノー1,2,4 - チアジアゾール-3 - イル)アセトフミド)-3 - (2,4 - ジメチル-1 - ピリジニオメチル)-3 - セフエム-4 - カルポキシレート(シン異性体), mp115~117℃(分解)。

IR(メジャール):3280.3180,1760,1675,1635, 1610,1520cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, d): 259(3H, s), 278(3H, s), 320 \*LU 350(2H, ABQ, J=18Hz), 4.81(2H, d. J=6Hz), 5.27 \*LU 5.55(2H, ABQ, J=14Hz), 5.28(1H, d. J=5Hz), 5.93

#### 特恩昭58-41887(12)

(1H.d.J=5Hz),51-56(2H.m),57-63 (1H.m),7.5-7.9(2H.m),860(1H.d.J=7Hz)

マラ フー(2ーアリルオキシイミノ-2ー(5ーアミノ-1,2.4ーチアジアゾールー3ーイル)アセトアミド)ー3ー(3ーノチルー1ーピリジニオメチル)ー3ーセフエムー4ーカルボキシレート(シン異性体), mp115~117℃(分解)。
IR(ヌジョール):3300.3160.1770.1670.1610.1530cm<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):256(3H,8),320 \$\(\frac{1}{2}\)U 340

(2H,ABq.J=18Hz),480(2H,d,J=6Hz),

5.30(1H,d,J=5Hz),51~58(4H,m),

5.92(1H,d,J=5Hz),58~65(1H,m),

7.8~89(4H,m)

QA 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1.2.4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3.4-ジメチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(ンン異性体),mp117~122℃(分解)。

8.60(1H.d.J=7Hz).8.68(1H.8)

¢8 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(4-アセチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエムー4-カルボキシレート(シン異性体)、mp155~160°C(分解)。IR(ヌジョール):3500,3150,3100,1775.

1700,1670,1610,1530am-1

NMR(D<sub>2</sub>O.8):280(3H,s).328 \$ 10 367
(2H,ABq,J=18Hz).407(3H.8).528
(1H,d,J=5Hz).547 \$ 10 568(2H,ABq,
J=14Hz).587(1H,d,J=5Hz).847

(2H,d,J=7Hz),923(2H,d,J=7Hz)

Ø 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-アミノ-1,2,4-チアジアゾール-3-イル)アセトアミド)-3-(3-ホルムアミド-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体),mp158~165℃(分解)。

IR(xyn-n):3250,3100.1760.1670.

IR(メジョール): 3280,3150,1770,1665, 1635,1610,1525 ロー

NMR( $D_2O$ ,  $\delta$ ): 2.43(3H, s). 255(3H, s). 320  $\Rightarrow$  LU 3.60(2H, ABQ, J=18Hz), 4.05(3H, s), 526(1H, d. J=5Hz). 522  $\Rightarrow$  LU 5.47(2H, ABQ, J=14Hz). 5.87(1H, d. J=5Hz),

7.6~8.0(1H,m),8.5~8.8(2H,m)

カー(2-アリルオキシイミノー2-(5-アミノー 1,2,4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド〕-3-(3,4-ジメチル-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)。mp157~161℃
(分解)。

IR( $\pi \nu_{m} - \nu$ ):3270,3160,1770,1670, 1635,1610,1520 $\alpha^{-1}$ 

NMR(D<sub>2</sub>O, 8), 233(3H, 8), 254(3H.8),
320 \$\( \) LU 363(2H, ABQ, J=18Hz),
480(2H, d, J=6Hz), 530(1H, d, J=5Hz),
51~58(4H, m), 592(1H, d, J=5Hz),
5.8~65(1H, m), 781(1H, d, J=7Hz),

1600.1540a=1

NMR(DMSO-d<sub>6</sub>+D<sub>2</sub>O, δ):120(3H,t,J=7Hz),
3.0~3.6(2H,m),4.18(2H,q,J=7Hz),5.1~
5.9(2H,m),5.17(1H,d,J=5Hz),5.77(1H,d,J=5Hz),7.9~8.2(1H,m),8.48(1H,s),
8.5~8.7(1H,m),8.9~9.1(1H,m),9.4~9.7
(1H,m)

(四) 1 - (2 - (2 - プロピニルオキシイミノ)
 - 2 - (5 - アミノー 1, 2, 4 - チアジアゾールー
 3 - イル) アセトアミド ] - 3 - (3 - ホルムアミドー 1 - ピリジニオメチル) - 3 - セフエムー4 - カルポキシレート(シン異性体),mp
 1 6 5 ~ 1 6 8 ℃ (分解)。

IR(メジョール):3400~3100.1770.1670. 1610.1560~1500 ロー<sup>1</sup>

NMR(DMSO-d<sub>6</sub>+D<sub>2</sub>O, 8):3.05(1H,t.J=2Hz).

5.15 \$\frac{1}{2} \text{ \$C\$} \ 5.70(2H,ABq,J=18Hz).

4.87(2H,d,J=2Hz),523(1H,d,J=5Hz).

5.27 \$\frac{1}{2} \text{ \$C\$} \ 5.63(2H,ABq,J=14Hz).5.84

(1H,d,J=5Hz),7.9~8.1(1H,m),8.42

#### 14周昭 58-41887(13)

(1H.8).85~8.8(2H.m), y.4~9.5(1H.m)

(1) 7-〔2-(2-プロピニルオキシイミノ)

-2-(5-アミノー1,2,4-チアジアゾールー

3-イル)アセトアミド)-3-(3-アミノー

1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カル

ポキシレート(シン異性体), mp158~170

C(分解)。

IR(メジャール): 3350~3150,1770,1660~1590, 1510 a<sup>-1</sup>

NMR(D<sub>2</sub>O, δ): 3.15 **b** L U 3.67(2H, ABq, J=18Hz 4.90(2H, s).5.0~5.6(2H, m).5.28(1H, d. J=5Hz).5.88(1H, d. J=5Hz).7.6~7.7 (2H, m).80~82(2H, m)

62 7-(2-カルボキシメトキシイミノー2(5-アミノー1,2,4ーチアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3-ホルムアミドー
1-ピリジニオメチル)-5-セフエム-4-カルボキシレート(シン異性体),mp165~
170℃(分解)。

IR(メジョール): 3400~3100.1770.1670.

ノー 1, 2, 4 ー f ア ジアゾールー 3 ー イル)アセト アミド〕ー 3 ー ( 5 ー ヒドロキシメチルー 1 ー ピ リジニオメチル)ー 3 ーセフエムー 4 ー カルポキ シレート ( シン異性体 ) . m p 1 6 4 ~ 1 6 8℃ ( 分解 )。

IR( $\cancel{z}\cancel{z}_y - \cancel{\nu}$ ):3650~3100,1770.1660. 1610,1530,1510 $\cancel{c}^{-1}$ 

NMR(D<sub>2</sub>O, 8): 5.18 \$ 10 5.72(2H, ABq, J=
18Hz), 407(3H, s), 470(2H, s), 5.52
(1H, d, J=5Hz), 5.52 \$ 10 5.65(2H,
ABq, J=14Hz), 5.92(1H, d, J=5Hz),
8.13(1H, m), 8.57(1H, m), 8.70(1H, m),
8.95(1H, 7D-18)

69 7-(2-メトキシイミノー2-(5-Tミノー1.2.4ーチアジアゾールー3ーイル) アセトアミド)-3-(4-(3-ヒドロキシブロピル)-1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)、mp115~120°C(分解)。

IR(\$\mu\_n):3400~3100.1770,1660.

1630~1590.1560.1530.1505a-1

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):3.15 および 3.71(2H, ABq, J=
18Hz).4.73(2H, 8).5.26(1H, d, J=5Hz).
527 および 565(2H, ABq, J=14Hz).587
(1H, d, J=5Hz).7.9~6.1(1H, m),842
(1H, 8).83~8.8(2H, m).9.4~95(1H, m)
は 7-(2-カルボキシメトキシイミノ-2(5-アミノー1,2.4-チアジアゾールー3ーイル)アセトアミド)ー3-(3-アミノー1ーピリジニオメチル)-3-セフエムー4ーカルボキシレート(シン異性体),mp175~185°C
(分解)。

IR(\$\mu\_{\mu}-\nu\$):3350,3200.1770.1670~ 1590.1510.1230 \alpha^{-1}

NMR(D<sub>2</sub>O+NaHCO<sub>3</sub>, ∂):3.17 ⇒ LC 3.61(2H,
ABq.J=18Hz).468(2H,s).525(2H,
7P-Fs).533(1H,d,J=5Hz).5.90
(1H,d,J=5Hz).7.7(2H,m).8.1(1H,m).
821(1H,m)

64 7-[2-メトキシイミノー2-(5-アミ

1630,1605,1520ar-1

NMR(D<sub>2</sub>O, 8):200(2H,m), 3.00(2H,t,J=6.5Hz), 3.0~38(2H,m), 3.62(2H,t,J=6.5Hz), 4.02(3H,s), 5.21 かよび 5.53(2H,ABq,J=15Hz), 5.23(1H,d,J=5Hz), 5.84(1H,d,J=5Hz), 7.87(2H,d,J=7Hz) 64 7-(2-エトキンイミノ-2-(5-アミノ-1.2.4-チァジアゾールー3-イル) アセトアミド) - 5-(3-カルボキシー1-ピリジニオメチル) - 3-セフエム-4-カルボキシレー

IR(x½-\nu):3300.3150.3050.1770.

ト(シン異性体)、mp159~166℃(分解)。

1670.1630.1520ar-1

NMR(D<sub>2</sub>O, δ):1.27(5H.t, J=7H<sub>2</sub>), 3.25 ★ L U 570(2H, ABq, J=18H<sub>2</sub>), 4.32(2H, q. J=7H<sub>2</sub>);5.28(1H, d. J=5H<sub>2</sub>), 5.38 ★ LU 5.75(2H, ABq, J=14H<sub>2</sub>),5.88(1H, d. J= 5H<sub>2</sub>),8.15(1H, m),9.05(2H, m),9.40 (1H, 7P-1's)

#### 特恩昭58-41887(14)

(3) 7-(2-エトキシイミノ-2-(5-アミノ-1,2,4-チアジアゾール-3-イル)アセトアミドリー3-(4-ホルムアミド-1-ピリジ・ニオメチル)-5-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)、mp158~165°C(分解)。

IR(\$\sigma\nu=\nu\$):5280.5160.1770.1710.

1660.1630.1600.1550.1515\arg \dots \dots \dots

NMR(D\_2O, \dots):1.50(\dots H.t. J=7Hz).3.15 \dots \dots

\text{\$\sigma}\$\tag{5.67(2H.ABq.J=18Hz).4.30(2H.q.}

J=7Hz).5.1\sigma 5.5(\dots H.m).583(1H.d.

J=5Hz).7.97(2H.d.J=7Hz).8.67

(1H.\sigma\nu=\frac{\tag{4.6}{5.67}}{5.873(2H.d.J=7Hz)}

#### 実施例5

7-〔2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1,24-チアジアゾールー3-イル)アセトアミド)-3-(3,5-ジメチルー1-ピリジニオメチル)-3-セフエム-4-カルポキシレート(シン異性体)(50呀)の粉末を水(25 \*\*\*)

に溶解し、冷蔵庫にて数日間放置する。生ずる結

晶を集めて結晶種として削いる。

7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノ +1.2.4-チアジアゾールー3-イル)アセトア ミド)ー3-(3:5-ジメチルー1-ピリジニオ メチル)ー3-セフエムー4ーカルボキシレート (シン異性体)(1.58g)を水(1.6 ml) に溶解した溶液に、先に得た標準品の結晶を結晶積として加え、冷蔵庫内にて一夜放置する。生ずる結晶を 戸取し、冷水で洗浄し、乾燥して無色結晶の 7-(2-メトキシイミノー2-(5-アミノー1,2.4-チアジアゾールー3-イル)アセトアミ ド]ー3-(3.5-ジメチルー1ーピリジニオメ チル)ー3-セフエムー4ーカルボキシレート (シン異性体)(370号)を得る。 実施例5と同様にして、上記の実施例のその他の

出 顧 人 藤沢楽品工業株式会社

代理人并理士 青 木

化合物の結晶形をも得る。

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.

# BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:	
BLACK BORDERS	
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	
OTHER:	

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.